

内海造船(株)の事業基盤強化計画(抜粋)

企業概要

- 1940年創業。主に内航フェリー・RORO船やコンテナ船等を建造。
内航船省エネルギー格付け制度 最高評価“5つ星”を16隻建造。
(2021.11月時点)
- 環境対応への社会的要請の高まり規制強化や内航船員の担い手不足が進む中、船主へ付加価値の高い船舶を供給していくため、低環境負荷船及び安全・労働負荷軽減に資する船舶を開発していくことが必要。
- また、コロナ禍や資機材高騰など事業環境が大きく変動している中、安定的な収益を確保するために、新分野への展開、生産効率の向上、コストダウン等に取り組むことが必要。



計画の概要

- LNG燃料を採用した低環境負荷型の内航フェリー・RORO船や、主機遠隔診断システムの採用等により安全・労働負荷軽減に対応した各種船舶を開発・生産し、マーケットニーズへの対応を目指す。
- 加えて、風力発電関連などの新分野への展開を進める。
- 更に、大型クレーンの導入による生産効率の向上や、過去の調達データを活用した効率的な発注業務による資機材費低減等のコストダウンを行うことで収益力の向上を図る。

<計画実施期間> 2021年11月～2026年3月

<実施場所> 内海造船(株) 瀬戸田工場(広島県尾道市)、
因島工場(広島県尾道市)

